

2019年1月号

へそ按腹たより



へそ按腹普及会 日本事務局

【ご挨拶】

新しい年号の新しい時代が幕開けします。時代が変わっていく事を肌で感じる年明けとなりました。

私は鍼治療を通して、東洋医学と西洋医学の融合をめざしておりましたが、今までは主に東洋医学の観点から身体を大きなスケールで全体的に把握して、手技を完成させることに没頭してまいりました。お陰様で、一定の段階まで手技を完成させることができ、今は新しく「気の正体」の解明に向けて取り組み始めています。わずかに1~2ミリの刺激で身体を大きく変化させる力の元は何か、神経科、情報伝達物質か、正体をミクロの世界で突き止めようというのです。もし今回の研究で目指すものが見つければ、東洋と西洋の医学を融合させるきっかけとなるのではないかと夢見ながら、按腹も新しい時代に突入していきます。

また按腹ファンの中の、多方面で支援してくださる方からアドバイスをいただき、正式に按腹学会を立ち上げることになり、論文作成などの準備が始まりました。

へそ按腹は新しい時代に相応しく変化し続けております。今年もよろしくお願ひ申し上げます。

【活動報告と按腹情報】

胃の気

2年前に按腹を学びに来ていた方が亡くなりました。先週病院に往診に行きましたが、顔を見た瞬間、鼻筋あたりに出る神気が完全に抜けている。お腹を診ると、胃土に強烈な邪が大きく深く入り込んでいる。手遅れだと感じました。胃の気=生命を維持する力が既に絶えた状態でした。残念なことです。

治療院に学びに来ていた時には自覚賞状はありませんでした。

2年続いた痺れ

家事をするのも一苦労、物を持ってても痺れで感覚がわからない、四六時中腕がしびれ、睡眠まで妨げる。2年以上も続いた症状です。

お腹は肋骨の上に邪が盛り上がるように乗っていました。2日間続けて来院され、丁寧に骨際を按腹して邪を取り除きました。痺れは激減し今までの苦痛は何だったのと喜んでいました。

効果が出ない時

どこを按腹しても効果が出ない、なんて事はありませんか？そんな時は腸骨の後ろ側を叩いてください。仙腸関節の近くまで、軽く気持ち良い程度の強さで叩いてください。へそ裏も一緒に緩みます。

へそ裏叩き

へそ裏をほぐすには、手の拳で軽く叩く、背骨の両脇あたりで響く所がある、仙腸関節あたりを叩いても効果はあります。しかし叩きすぎると良くない所でもあるので注意が必要です。

そこで、一番適した大きさと重さを持つ、へそ裏叩きを作りました。仕上げの手技を使うより効果があります。

ぎっくり腰からヘルニア

ぎっくり腰を繰り返すとヘルニアや座骨神経痛を起しやすくなります。ぎっくり腰の多くが、腰椎近辺の腱（骨を支える重要な働きをしている）を痛めています。東洋医学では胆経腰痛と言ひ、仙骨と腰椎5番辺りに一番負担がかかって起こると考えられます。肝胆のゾーンで治療すること、腸骨に乗った邪をしっかりと取ることで癖にしないように予防しましょう。

3月9日(土)10日(日)2級セラピスト認定講座開催

春の認定講座を3月9日(土)10日(日)に開催いたします。今回のテーマは「冷え対策-外邪による失調」です。再受講のわくもあります。詳しくは治療院ホームページをご覧ください。

1月10日(木曜日)按腹体操教室開催

2019年1月10日(木)14:00~16:00 受講料: ¥3,700
2級セラピスト資格者は半年間(1月~6月)無料でご参加いただけますので、ぜひこの期間にご参加ください。

1月16日(水)定例会

テーマ「水分排泄障害」

1月17日(木)上級補講教室

失禁・夜尿症・むくみ

YouTube 会員についてのお問い合わせ先

【へそ按腹普及会 (すぎやま按腹鍼灸院内)】

電話: 03-6206-2666

メール: heso.ampuku.hukyukai@gmail.com